

平成 19 年 10 月 18 日

各 位

西日本シティ銀行

「第 64 回九州の経営動向調査」結果のお知らせ

西日本シティ銀行（頭取 久保田勇夫）は、四半期毎に当行のお取引先様のご協力を得て、経営動向調査を実施しております。このたび、第 64 回の調査結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

1. 調査対象企業について

- ・ 当行の主要取引先 778 社（回答企業数 365 社、回答率 46.9%）
- ・ 回答企業：福岡県内企業 79.5%、中小企業 79.2%

2. 景況感概要

- ・ 景況感については、全産業では前回調査に比べ悪化し、「悪化」超幅が拡大。うち、製造業は「好転」超幅が縮小、非製造業では「悪化」超幅が拡大した。
- ・ 原材料価格の高騰や競争激化による収益低下懸念により、中小企業を中心に景況感の悪化を懸念する声も多い。
- ・ 先行きは、製造業を中心に緩やかな回復の見通し。

景況感 B S I

	18年7月 ~9月期	18年10月 ~12月期	19年1月 ~3月期	19年4月 ~6月期	19年7月 ~9月期	19年10月 ~12月期 (見通し)
製造業 (改善ポイント)	+1.9 (0.2)	+8.6 (+6.7)	+8.7 (+0.1)	+11.2 (+2.5)	+8.3 (2.9)	+11.4 (+3.1)
非製造業 (改善ポイント)	3.8 (+0.2)	+8.6 (+12.4)	2.3 (10.9)	6.2 (3.9)	9.3 (3.1)	±0.0 (+9.3)
全産業 (改善ポイント)	2.1 (+0.3)	+8.6 (+10.7)	+0.6 (8.0)	1.8 (2.4)	4.5 (2.7)	+3.1 (+7.6)

3. 個人消費の動向

現在の個人消費は「良い」と回答した企業が 11% に対し、「悪い」と回答した企業は 35% となっており、引き続き「悪い」超となった。前回調査と比べると「良い」が 9 ポイント減少、「悪い」が +13 ポイント増加した結果、前回より悪化となった。

また、先行きの個人消費についても、前回調査と比べると「好転」が 7 ポイント減少、「悪化」が +14 ポイント増加した結果、前回より悪化となった。

4. 設備投資について

平成 19 年度の設備投資見通しは、全産業計で前年度実績比 +8.6% の増加となった。

以上

詳しくはこちらでご確認いただけます。

[第 64 回九州の経営動向調査](#)

本件に関するお問合せ先
審査統括部 野田 (TEL 092-476-2781)